

子どもたち世代にツケを残さない

健全な財政運営が求められます！！

そこを心配しています。市側は大丈夫と
言っているんですが…。

あらあら。ずいぶん大型事業が続くんだね。財政面は大丈夫なの？

はい！前年度とほぼ横ばいで、国際医療福祉大学医学部、成田空港のさらなる機能強化の推進、そして卸売市場移転再整備が目玉事業といえます。あとは、大栄小中一体型校舎整備、清掃工場付帯施設整備、運動公園整備…。

しんごちゃん！今議会もお疲れ様！新年度予算が決まったんだね！

県内平均では平成19年度は87.1%でしたが、未来の子どもたちに負担をかけないようにと、平成28年度までに半減している中で、成田市は逆行して倍増している状況です。

ええええ！

「将来負担比率」という、将来の子どもたちにどれだけのツケを先送りしているかという指標があります。

小泉市長が就任された平成20年は33.4%で県内10位でしたが、平成28年度には74.6%、県内30位と低下しました。

こちら見てください！

もちろん、世代間の税負担の公平性という考え方はありますが…。そして、それだけじゃないんです…

じゃあ、今の大型事業とか、市民サービスは将来の世代に負担を先送りしているってことなの？なんだかそれって、ちょっと…

小泉市長就任時

成田市	県平均
平成20年 33.4%	平成19年 87.1%
8年後	9年後
平成28年 76.4%	平成28年 43.8%

成田市は倍増してる…！

県は半減してる！

【将来負担比率の状況】

財政が豊とされる成田市ですが、予断が許されない状況です。将来世代に過度な負担を強いることがないよう、適切な財政運営を求めてまいります！

それってまずくない??

はい。高度経済成長期に整備された公共施設がどんどん老朽化していて、耐震化などで毎年100億円以上かかる試算がでて、政策予算に配分し過ぎて、充当可能な費用が62億円と40億円ほど足りない状況なんです。

ええー！まだあるの???

頑張ります！



Vol.44

将来世代への負担増！？ 成田市の新年度予算決まる！

平成30年度の一般会計予算は590億円となり、国民健康保険特別会計など全会計の総計は899億円となりました。人口減少、超高齢社会により成田市においても扶助費をはじめとする義務的経費が増大しています。さらに高度経済成長期に建設された公共施設が軒並み老朽化し、長寿命化などのために毎年100億円が必要とされていますが、国家戦略特区などの大型事業が継続しており、未来へのツケである、「将来負担費比率の増加」が気になります。

市民要望に応えることは「市政」の根幹ではありますが、それを為すには柔軟なバランス感覚を持って行わなければなりません。

過度な負担を将来世代に強いることのないよう、償還額のバランスに十分に留意して市政運営をするよう要望しました。

引き続き、積極的かつ健全な財政運営を念頭に、会派政友クラブの同志と共に、市政発展に向けチェック機能を果たしてまいります。

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

雨宮真吾事務所

〒286-0018
成田市吾妻 3-48-28
TEL・FAX/0476-37-7608

活動日記を更新中！！

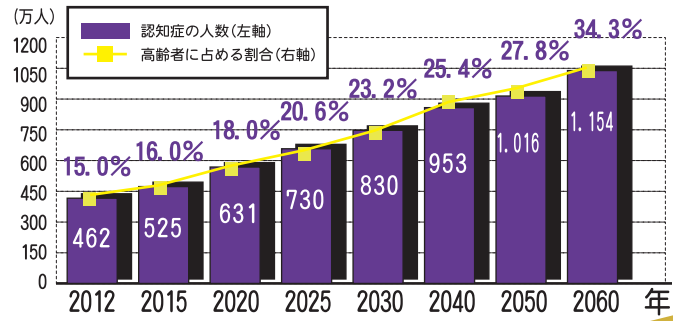
雨宮しんご 検索

- 1978年10月31日生まれ(39歳)
- 平成19年 2651票で初当選
- 平成23年 4079票で2期目当選
- 平成27年 4526票で3期目当選
- 教育民生常任委員会
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター

認知症対策を推進します！！

認知症患者が急増する!?

厚生労働省が策定した「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～(新オレンジプラン)」によると、団塊世代が後期高齢者となる2025年には認知症を患う人の数が700万人を超えるとの推計値が発表されました。これは、65歳以上の5人に1人が認知症に罹患する計算になります。



認知症による物忘れと、老化による物忘れは区別が付きにくく、認知症が疑われていても、医療受診や介護サービスに結び付きにくいという課題があります。以下がその参考の目安となるチェック項目となります。

認知症と老化の違いは？

認知症による物忘れ	老化による物忘れ
忘れたことを自覚できない	忘れたことを自覚している
体験したことを忘れてしまう	体験したことの一部を忘れる
約束したことを忘れてしまう	約束の日時や場所の一部を忘れる
慣れた道や自宅近所で迷う	ヒントがあると思いだせる

「認知症初期集中支援チーム」を4月1日に設置！

成田市では、こうした国の取り組みを受けて認知症初期集中支援チームを4月1日から設置することになりました。このチームでは、医療や介護の専門職、専門医の3人でチームを構成し、認知症や認知症の疑いのある方の自宅を訪問して適切な医療や介護サービスにつなげることを目的としています。



認知症の方とその家族を支える地域包括支援体制の構築を！

急激な高齢化に伴い、成田市においても認知症の方の増加が見込まれています。認知症の疑いがある方への早期介入や適切な支援ができるよう、引き続き認知症と家族を支える地域包括支援体制の構築を推進してまいります。



歴史的決断！

成田国際空港のさらなる機能強化決まる！

2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、B滑走路の延伸や三本目滑走路建設、それに夜間飛行制限の緩和など空港の更なる機能強化を求める動きが本格化してきました。

成田市発展の屋台骨を担う成田国際空港の機能強化は、将来の成田のためにも推進して行かなければなりません。

ですが、成田国際空港は内陸空港であり、騒音地域住民の方々に対して果たすべき使命があると考えます。それは「航空機騒音対策」であり「落下物対策」です。

本年3月にも、また航空機落下物が確認されました。成田市における騒音地域には現在、6,700世帯、人口にしておよそ1万8,000人の方々が生活されています。(成田市計:61,475世帯、133,082人)

成田国際空港の発展を願うからこそ、騒音下地域住民の方々への安心・安全を守るため、民家防音工事の施工内容の改善や周辺対策交付金の増額や使途基準の拡大による地域振興策の推進が求められます。



空き家バンク創設で成田市の空き家は解消されるか!?

買い物難民や空き家の増加は少子高齢化に付随する社会現象の一つであり、もはや行政だけで解決することは困難な状況です。2033年には空き家率が30.2%にまで上昇するという予測もあり早期対策が求められています。

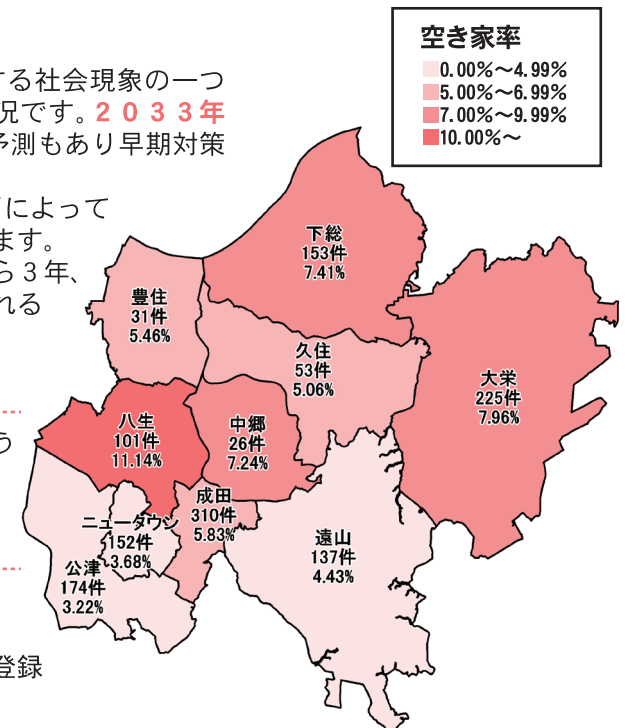
空き家所有者には高齢者が多く、資金力の低下などによって資産管理ができなくなることが主な原因とされています。平成27年に施行された空き家対策特別措置法から3年、成田市でも計画が策定され「空き家バンク」が創設されることになりました。

空き家バンクの目的

- ・空き家の所有者は、多くの利用希望者に知ってもらう
- ・利用希望者は、適した空き家を探す
- ・自治体は空き家の活用による地域活性化を図る

空き家バンクの仕組み

- ・空き家の所有者:自治体に空き家を登録
- ・自治体:利用希望者に空き家を紹介
- ・利用希望者:希望する空き家を探し自治体に利用者登録



空き家バンクを定着させるためにも、地域全体で移住者を迎える体制を構築できるよう今後も声を上げてまいります。